

史上初!沈降速度自在の ダウンショット専用フロート!

Ne'reiD® Active Float DS

NR-ACTIVE FLOAT® DS

NR アクティブフロート ダウンショット

■ダウンショットでダイレクトにボトム直撃が可能

これまで届かなかったポイントのボトムに、リフト&フォール等を任意のスピードで行い、バイトを誘発できます。日中やハイプレッシャーポイント、低活性時などで、抜群の威力を発揮します。

■沈降速度をコントロールしオールレンジを攻略

レンジを自由に探れるウエイトチェンジシステムを搭載しました。沈降スピードを可変させることにより、ボトムだけではなく、トップレンジを含め、リグを切ることなく全てのレンジを探ることが可能です。5B×2 (3.7g≒約1号) までのガン玉が内蔵可能で、発光体用のホルダーを外せば、5B×3 (5.5g≒約1.5号) のガン玉を搭載できます。

■ワイドゾーンに対応する優れたキャストビリティ

空中重量の大幅アップにより、これまで届かなかったファースайдへキャストिंगができるうえ、ボトムに対してもダイレクトにアプローチが可能です。

■ティアドロップシェイプで根がかりを回避

ダウンショットで有利な根がかり回避能力を、さらに極限まで高めた涙滴型ティアドロップシェイプを採用しました。付属のエクステンションチューブハードを使用で、さらに効果が現れます。付属のクリアゴムは、結束部の保護に役立ちます。

■発光体の組み込み可能 (チモトホタル適合)

内部には「チモトホタル」が収納可能 (チモトホタル重量0.05g) で、魚に強烈なアピールを行います。さらにフロートが水を押し自らがバイトとなることで「すり替え」効果を発揮、バイトを誘発します。



クリアレッド

クリアオレンジ

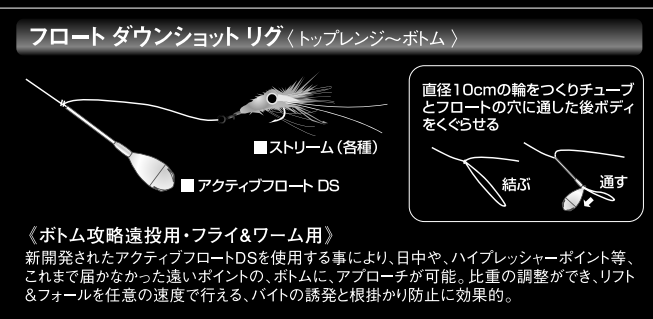
クリアグリーン



クリアピンク

グローホワイト

クリアイエロー



《ボトム攻略遠投用・フライ&ワーム用》

新開発されたアクティブフロートDSを使用する事により、日中や、ハイプレッシャーポイント等、これまで届かなかった遠いポイントの、ボトムに、アプローチが可能。比重の調整ができ、リフト&フォールを任意の速度で行える、バイトの誘発と根掛かり防止に効果的。

ラインをガードし、根掛かりを防止する 専用チューブ。

Ne'reiD® EXTENSION TUBE (Hard)

NR-EXTENSION TUBE HARD

NR エクステンションチューブ【ハード】

■ハードタイプは、アクティブフロートDSとの組み合わせで根がかりを回避

ボトムの岩の割れ目や、くぼみにシンカーが挟まった際はテコの役割を果たし、根掛かり状態からのエスケープが可能です。

■ストラクチャーによるラインのダメージを軽減

ダウンショットリグなど、ボトム付近を狙う際に、ラインへの傷を防ぎます。

■フロートダウンショットリグが可能

着底後にフックを自然にフォールさせることができます。ボトムで狙うアジ、メバルに有効です。



タイプ:ハード

レンジキーパー& キャストिंग時の目印。

⌄ Ocean Ruler® Casting Marker

OR-CASTING MARKER

OR キャスティングマーカー

■夜のキャストिंग用目印

ホワイトを使用すれば、暗闇でもよく見え、ロッドのティップを痛めません。

■目印の位置でエギやプラグの遊泳層がわかる

夜はホワイト、日中はピンクを任意の位置に結んでおけば、目印の位置でエギやリグの遊泳層がわかります。

■スムーズにガイドを通過

ソフトで見やすいマテリアルを採用しており、結び目が小さいのでガイドを通過します。

Color:ピンク、ホワイト



ピンク

ホワイト

フロートダウンショットリグ〜サーフェイス からボトム狙いへ

「レンジキープ」。ライトゲームにおいて、一定の層をキープすることは極めて重要なテクニックである。オーシャンルラー・ニアリッドシリーズは、そのレンジを大きく5つに分けて考えている。

- ①サーフェイス (水面)
- ②トップレンジ (上層)
- ③ミドルレンジ (中層)
- ④ディープレンジ (底層)
- ⑤ボトム (海底)

これら全てのレンジを1種類のみのリグで賄うことなど、不可能と考えられてきたのは、周知の事実である。狙いのレンジを「通過」させることはできても、「キープ」させることそのものが困難

だからである。それを可能とするべく、オーシャンルラープロジェクトが導きだした結論、それが「フロート・ダウンショットリグ」である。基本は、ボトムレンジ狙いの定番リグとして名高いダウンショットリグだ。そのシンカー部にフロートをセットするというこのリグに、既におなじみとなったウエイトチェンジシステムを組み込むことにより、サーフェイスからディープレンジまで、一定のレンジを意のままにキープすることは勿論、ボトムまでをカバーしてしまう夢のようなフロートが完成した。その名は、「アクティブフロートDS」。重心がリグの最下部にあるため、従来のフロートリグ以上の飛距離も実現した。アクティブフロートの根掛かり回避能力アップ&ライン保護のため、エクステンションチューブもセットされる。「ダウ

ンショットリグ=ボトム専用」という概念は、過去のもの。これからはオールレンジをキープできるリグとして、このリグがフロートリグの新たな世界を切り拓くことになるだろう。

1.フロートリグのメリット・デメリット

フロートリグの出現により、これまで狙うことが困難とされてきたエリアへも躊躇なくリグを打ち込むことが可能となった。例えば、春先、ウイードの繁茂するエリア。一歩間違えば即リグをロストしかねないタフなエリアへも、フロートリグであればウイードの真上すれすれをトレースでき、しかも障害物に潜む良型がバイトする確率も大幅にアップする。また、フロートリグは沈降スピードの調整が行いやすいため、一定のレンジをキープしやすいのも魅力のひとつである。しかし、その一方

で、注意しなければならないこともある。フロートリグは体積が大きい、水の抵抗を受けやすく、シンカー単体に比較して、リグが表層近くに上ずりやすいことを忘れてはならない。アクティブフロートは、リグの浮き上がりを想定し、狙いたいレンジをトレースできるようシンカーを組み込むことでこの問題を解消できる。

2.引き波と身代わり

サーフェイスをフロートリグでリトリブ中、ワームの付いたフックにではなく、フロートそのものにターゲットがアタックしてくる経験をしたアングラーは多いのではないだろうか。これは、フロートそのものが生み出す引き波に、ターゲットが反応しているために起こる現象である。ソルトフライを用いたフロートリグであれば、これをそ

のままフッキングに持ち込む確率を大幅にアップさせることが可能である。アクティブフロートにガン玉を追加せずフローティング状態にしたものに、ソルトフライ「ストリーム」をセット。アクティブフロートとソルトフライの間隔を10~20cmと短めにセットすることで、フロートを意識して近づいてきたターゲットが、より簡単にソルトフライにバイトさせる「身代わり」効果を発揮するのである。バイトはあるのにヒットしない、そんなイライラを解消するためのリグとして、ぜひおすすめしたい。

3.トップではなくオールレンジを狙え

アプローチ早々、ターゲットの姿がトップレンジ付近に目視できる。そんなシチュエーションも少なくはない。だからといって一定のレンジばかり

に固執してしまわない方がよい。一昔前であれば、サーフェイスを反復的に狙うことが釣果アップの王道とされてきた。だが、どんなにターゲットの姿が確認できようとも、その下のレンジには、目には見えなくても、たくさんのターゲットが潜んでいることが多い。自由度の低いリグの場合、交換に時間がかかるだけではなく、交換を躊躇し攻めることさえ行っていないのは自明の理である。ニアリッド・アクティブフロートは1度もラインをカットすることなく、内蔵シンカーを入れ替えるだけで全てのレンジを攻略可能。このことは厳寒期など、アングラーにとって極めて厳しい状況下でも、確実にバイトを導き出す心強い味方となってくれることに違いない。